

しののめ

平成27年3月4日発行

「東中を巣立っていく皆さんへ」



校長

山内 賢一

寒い日が多く、厳しい冬も終わりを告げ、日の光りに春の息吹を感じさせる三月、中学校の課程を無事修了し、卒業を迎える3年生の皆さん、卒業おめでとう。九年間の義務教育を終えて、今ここに巣立とうとする皆さんに心からの祝福を送ります。

さて、卒業生の皆さんにとって、東中での三年間はどのようなものだったのでしょうか。一人一人の生活は、楽しかったことや嬉しかったことばかりではなく、大変なことも多かったのではないのでしょうか。その中で皆さんは、とても大きく成長してきたと思います。皆さんとの出会いは二年前でした。自主的に取り組む力や協力し合う心を学ぶことができる修学旅行や東中フェスティバル、自分の精神力や技能を伸ばしチームワークの大切さを学ぶことができる



学校保健大会

部活動、そして毎日の学校生活と、皆さんが様々な場面で見せてくれたリーダーシップの姿を、とても楽しみにしながらこの二年を過ごしてきました。しかし、時の流れはとても速く、卒業式という最終章が目前に迫ってきました。

さあ今、人生の新たな出発点に立った皆さん、自らの命を大切に、自分の力を信じて生き抜いてほしい。進む道は様々ですが、皆さんには若さがあります。若さは無限の可能性を秘めています。それぞれの夢に向かって雄々しく羽ばたいてください。

最後になりましたが、卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。子どもたちの健やかな成長を願い、教職員一同懸命に努力してまいりました。これまでの三年間にわたり、皆様方より賜りました、本校教育活動へのご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

東雲日記

「何だろう？この解放感はい！」卒業式を終える子どもたちの姿を目の当たりにする度に、一瞬にして、こうした気分には包まれる▼緊張の中で数時間を過ごした後の充足感からだろうか。それとも、子どもたち一人一人の屈託のない笑顔からだろうか。とにかく、毎年、心の中で「うん、とっても素敵な式だったよ。」とつぶやきながら、笑顔や涙とともに式場を後にする卒業生たちを拍手で見送っている▼ところで、会場にいる保護者のみなさんは、どんな思いで我が子を見守っているのだろうか。たった一言だが、呼名された後の「はい！」という返事は、どんな響きをもって父親や母親の心に届いているのだろうか▼「泣く」ことは、心の開放に役立つと聞いた。卒業式で見せる子どもたちの「涙」は、また格別だ。今年もまた、そんな涙を見ながら、大人たちは、さらに癒されることとなる。(奈)

このお便りは、生徒のみなさんと保護者の方々に向けて発行しています。



RENMA



NEWS

< 3年生を送る会 後輩たちから心を込めて…卒業、おめでとう！ >



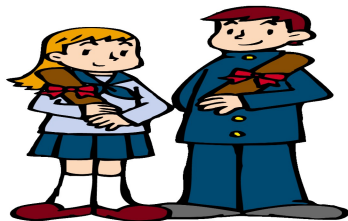
3月2日（月）全校生徒による「3年生を送る会」が盛大に行われました。3年生の卒業を祝う1年生と2年生の出し物を皮切りに、箏曲部や吹奏楽部、有志の発表、懐かしい先生方のビデオレター、そして、待ってました！3年生の先生方の出し物と、3年生のみなさんにとっては、心に残る一日となりました。そして、最後は、お礼に3年生の先輩たちの素晴らしい歌声が体育館いっぱいに響きました。生徒会のみなさん、先輩たちのために、素晴らしい会をありがとうございました。

【毎日更新中です！東中ホームページ】

東中の子どもたちの素敵なニュースをタイムリーにお届けする「東中ホームページ」…平成23年度9月の開設以来、毎日の更新を続けています。学校だより「しのめ」とともに、ぜひ、ご覧ください。よろしくお願いします。



HPアドレス <http://www.owariasahi.jp/higashi-j/>（毎日更新中）



尾張旭市立東中学校 学校だより「しのめ」編集部

〒488-0051 愛知県尾張旭市下井町前の上1602番地

教頭：加藤奈保樹 ☎ 0561(54)6511 FAX 0561(52)2905